

令和4年度 立入困難地域における漂着 ごみ現状把握調査の結果 (概要)

愛媛県循環型社会推進課

1

1 調査地点、時期及び調査方法

1 調査地点

- ・今治市：全域
- ・中予地域：松山市、伊予市、松前町
- ・南予地域：R3年度調査で特に漂着ごみが多く確認された地点(伊方町、宇和島市、愛南町)

2 調査時期

- ・今治市：令和4年11月15日～12月2日
- ・中予地域：令和4年11月1日～12月10日
- ・南予地域：令和4年6月1日～令和5年2月5日
(年2回調査)

3 調査方法

- ①船舶から目視等により調査対象海岸を確認し、漂着ごみの有無を確認
- ②漂着ごみが確認された海岸について、船舶から上陸、又は上陸が困難な場所は接岸し、目視及び写真撮影により、漂着ごみの量及び種類を評価・記録

※評価は「水辺の散乱ごみ指標評価手法(海岸版)」(2004年、国土交通省東北地方整備局、JEAN/クリーンアップ全国事務局及び特定非営利活動法人パートナーシップオフィス)に準じて実施。



【10】 = = 5.5mの和船

2

2 漂着ごみの堆積箇所（中予地域及び今治市）



2 漂着ごみの写真（中予地域及び今治市）



松山市津和地島



松山市中島



今治市平市島



今治市波方町

4

3 調査結果

- 中予地域及び今治市で確認した漂着ごみの堆積箇所は178カ所。
- 松山市管内が94カ所、今治市管内が84カ所、松前町管内及び伊予市管内は0カ所であった。中予地域は南予地域に比べて、消波ブロックの設置など護岸工事によりごみが漂着しやすい自然海岸が少なかった。
- 178地点の評価ランク合計は9,397となり、軽トラック約940台相当にあたる（中予地域約555台分、今治市約385台分）。
- 8カ所において上陸調査を実施したところ、家庭ごみ、発砲スチロール、カキ養殖用パイプ、漁網等の漂着ごみの堆積を確認した。
- 南予地域の年2回の調査結果及び過年度調査結果との比較から、台風の通過により漂着ごみが再漂流した海岸や、季節風の影響により時期によって漂着ごみが堆積しやすい海岸などを確認した。
- 本調査結果で示す「評価ランク」は“恒久的”なものではなく、天候、風や潮汐等の複数の要因で変化する“一時的”な評価である。

5